

新旧対照表

資料 2 - 1

新/素案(案)	旧/たたき台	修正内容
<p>第●章●●</p> <p>ウイルス性肝炎（B型・C型）対策</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (削除) ○ <u>肝炎の原因は、ウイルス性、アルコール性、脂肪性、自己免疫性等に分類され多様であるが、肝炎に罹患した者に占める患者数の多さから、ウイルス性のB型肝炎及びC型肝炎に係る対策が依然として重要な課題になっている。</u>肝臓は沈黙の臓器とも言われ、自覚症状が少ないのが特徴で、B型・C型ウイルスに感染すると自分でも気づかないまま重症化し、慢性肝炎から肝硬変、さらには肝がんに進行してしまう危険性があることから、早期に発見し、早期に治療する<u>必要があるが、</u>肝炎ウイルス検査の結果が陽性であったにもかかわらず、医療機関に継続受診していない方が<u>多数に上るとされている。</u> ○ 肝炎ウイルス検査については、多くの市町村で実施しており、道立保健所においても平成13年から実施するとともに、平成19年8月から検査手数料を無料化し、検査の受検を促進している<u>ほか、</u>慢性肝炎から肝硬変、肝がんへの進行を防止することを目的に、B型及びC型ウイルス性肝炎の精密検査や治療に 	<p>第●章●●</p> <p>ウイルス性肝炎（B型・C型）対策</p> <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」、「肝炎対策基本法」及び同法に基づく「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、市町村、関係機関・団体と連携し、肝炎対策を推進している。 ○ <u>肝炎に罹患した者に占める患者数の多さから、B型肝炎及びC型肝炎に係る対策が依然として重要な課題になっている。</u>肝臓は沈黙の臓器とも言われ、自覚症状が少ないのが特徴で、B型・C型ウイルスに感染すると自分でも気づかないまま重症化し、慢性肝炎から肝硬変、さらには肝がんに進行してしまう危険性があることから、早期に発見し、早期に治療する<u>必要があります。</u>また、肝炎ウイルス検査の結果が陽性であったにもかかわらず、医療機関に継続受診していない方が<u>多数に上るとされています。</u> ○ 肝炎ウイルス検査については、多くの市町村で実施しており、道立保健所においても平成13年から実施するとともに、平成19年8月から検査手数料を無料化し、検査の受検を促進して<u>います。</u>また、慢性肝炎から肝硬変、肝がんへの進行を防止することを目的に、B型及びC型ウイルス性肝炎の精密検査や治療に係る費用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を「である」調に統一 ・ 根拠規定の記載省略化 ・ 「肝炎の原因」を追記

新旧対照表

資料 2 - 1

新/素案(案)	旧/たたき台	修正内容
<p>係る費用の一部を助成するとともに、ウイルス性肝炎に関する保健所での相談体制を<u>整備している。</u></p> <p>○ 肝疾患に関する医療提供体制を整備するため、平成 21 年に本道の肝疾患診療ネットワークの中心的役割を担う肝疾患診療連携拠点病院（3 病院）を指定したほか、平成 22 年には専門的な肝炎治療を行う肝疾患専門医療機関（<u>179 病院</u>）を指定している。</p> <p>○ また、患者・感染者・家族等からの医療相談に対応するため、平成 22 年度から肝疾患診療連携拠点病院に、肝疾患に関する相談センターを<u>設置している。</u></p>	<p>の一部を助成するとともに、ウイルス性肝炎に関する保健所での相談体制を<u>整備しています。</u></p> <p>○ 肝疾患に関する医療提供体制を整備するため、平成 21 年に本道の肝疾患診療ネットワークの中心的役割を担う肝疾患診療連携拠点病院（3 病院）を指定したほか、平成 22 年には専門的な肝炎治療を行う肝疾患専門医療機関を指定しています。</p> <p>○ また、患者・感染者・家族等からの医療相談に対応するため、平成 22 年度から肝疾患診療連携拠点病院に、肝疾患に関する相談センターを設置しています。</p>	<p>・ 「拠点病院」と同様「専門医療機関」の指定数を記載</p>
<p>課題</p> <p>○ ウイルス性肝炎については、これまでウイルス検査や治療費助成などの <u>対策を講じているが</u>、感染に気づいていない感染者も多数存在すると考えられるため、引き続き肝炎ウイルス検査の受検を促進するとともに、<u>精密検査や治療費に係る費用</u>の助成などを行っていく<u>必要がある。</u></p> <p>○ 医療機関への受診を継続していない陽性者や患者に対する専門医療機関への受診・受療の促進を図るとともに、<u>患者団体と連携を図りながら</u>、ウイルス性肝炎への理解を社会に広げ、患者等が不当な差別を受けることなく、社会において安心して暮らせる環境づくりを行っていく<u>必要がある。</u></p> <p>○ 肝疾患診療連携拠点病院や肝疾患に関する専門医療機関の機能</p>	<p>課題</p> <p>○ ウイルス性肝炎については、これまでウイルス検査や治療費助成などの<u>対策を講じてきましたが</u>、感染に気づいていない感染者も多数存在すると考えられるため、引き続き肝炎ウイルス検査の受検を促進するとともに、<u>精密検査や治療費</u>の助成などを行っていく<u>必要があります。</u></p> <p>○ 医療機関への受診を継続していない陽性者や患者に対する専門医療機関への受診・受療の促進を図るとともに、<u>患者団体と連携を図りながら</u>、ウイルス性肝炎への理解を社会に広げ、患者等が不当な差別を受けることなく、社会において安心して暮らせる環境づくりを行っていく<u>必要があります。</u></p> <p>○ 肝疾患診療連携拠点病院や肝疾患に関する専門医療機関の機</p>	<p>・ 言い回しの統一</p> <p>・ 「施策の方向と主な施策」の項への記述異動</p>

新旧対照表

資料2-1

新/素案(案)	旧/たたき台	修正内容
<p>の向上を図るとともに、診療連携を進める<u>必要がある。</u></p> <p>○ <u>肝炎対策の推進を図るほか、</u>これまでの対策に加え、本道の実情に即した今後の対策について検討を行い、肝炎対策の一層の充実を図る<u>必要がある。</u></p>	<p>能の向上を図るとともに、診療連携を進める<u>必要があります。</u></p> <p>○ <u>これまでの対策に加えて、</u>本道の実情に即した今後の対策について検討を行い、肝炎対策の一層の充実を図る<u>必要があります。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対策の推進に係る文言を追記
<p>施策の方向と主な施策</p> <p>(ウイルス検査の受検促進)</p> <p>○ ウイルス性肝炎に関する正しい知識や検査の必要性について肝炎医療コーディネーター<u>の活用等</u>を通じた<u>普及啓発を行い、</u>市町村や保健所における肝炎ウイルス検査の受検を<u>促進する。</u></p> <p>○ また、陽性者に対して、C型肝炎は高い確率でウイルス排除が可能であること、B型肝炎もウイルス抑制が可能であること<u>の理解を促進しつつ、</u>早期受診のメリット等の説明をすると等、適切な受診を促進するためのフォローアップを保健所や肝炎医療コーディネーター等において<u>行う。</u></p>	<p>施策の方向と主な施策</p> <p>(ウイルス検査の受検促進)</p> <p>○ ウイルス性肝炎に関する正しい知識や検査の必要性について肝炎医療コーディネーター等を通じた<u>普及啓発し、</u>市町村や保健所における肝炎ウイルス検査の受検を<u>促進します。</u>また、陽性者に対して、C型肝炎は高い確率でウイルス排除が可能であること、B型肝炎もウイルス抑制が可能であること<u>の理解を促進しつつ、</u>早期受診のメリット等の説明をすると等、適切な受診を促進するためのフォローアップを保健所や肝炎医療コーディネーター等において<u>行います。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の追加 ・記載内容の細分化

新旧対照表

資料2-1

新/素案(案)	旧/たたき台	修正内容
<p>(ウイルス性肝炎の進行防止)</p> <p>○ ウイルス性肝炎の精密検査や治療に係る費用の助成を引き続き<u>行い</u>、早期治療に結びつけるとともに、慢性肝炎から肝硬変、肝がんへの進行防止を図ります。</p>	<p>(ウイルス性肝炎の進行防止)</p> <p>○ ウイルス性肝炎の精密検査や治療費の助成を引き続き<u>行い</u>、早期治療に結びつけるとともに、慢性肝炎から肝硬変、肝がんへの進行防止を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言い回しの統一
<p>(肝炎患者の相談への対応)</p> <p>○ 保健所や難病センター、肝疾患診療連携拠点病院等で、<u>医療費助成など</u>ウイルス性肝炎に関する様々な相談に適切に対応し、療養生活を支援します。</p> <p>○ また、肝炎医療コーディネーター等の必要な人材を養成し、陽性者や患者、その家族への情報提供などの支援をきめ細やかに行い、陽性者や患者の専門医療機関への受診・受療を促進するとともに、<u>患者団体と連携を図りながら、ウイルス性肝炎への理解を社会に広げ、患者等が不当な差別を受けることなく、社会において安心して暮らせる環境づくりを行う。</u></p>	<p>(肝炎患者の相談への対応)</p> <p>○ 保健所や難病センター、肝疾患診療連携拠点病院等で、ウイルス性肝炎に関する<u>医療費助成など</u>様々な相談に適切に対応し、療養生活を支援します。</p> <p>○ また、肝炎医療コーディネーター等の必要な人材を養成し、陽性者や患者、その家族への情報提供などの支援をきめ細やかに行い、陽性者や患者の専門医療機関への受診・受療を促進するとともに、ウイルス性肝炎への理解を社会に広げ、患者等が不当な差別を受けることなく、社会において安心して暮らせる環境づくりを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言の移動 ・ 「課題」の項から記述移動
<p>(肝疾患診療連携拠点病院等の医療提供体制の整備促進)</p> <p>○ 肝疾患診療連携拠点病院や肝疾患に関する専門医療機関の機能の向上や診療連携を進めるため、連絡会議や研修会の開催により医療の均てん化や連携強化に努め、医療提供体制の整備促進を<u>図る。</u></p>	<p>(<u>肝疾患診療連携拠点病院等</u>の医療提供体制の整備促進)</p> <p>○ 肝疾患診療連携拠点病院や肝疾患に関する専門医療機関の機能の向上や診療連携を進めるため、連絡会議や研修会の開催により医療の均てん化や連携強化に努め、医療提供体制の整備促進を<u>図ります。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言の省略化

新旧対照表

資料 2 - 1

新/素案(案)	旧/たたき台	修正内容
<p>(肝疾対策協議会における今後の対策の検討)</p> <p>○ 肝炎の専門医や医療関係者、患者団体等で構成する肝炎対策協議会において、本道の医療提供体制の整備や患者への支援策の推進などについて検討を行う。</p> <p>○ 道は肝炎対策を実施するに当たって、その目標、具体的な指標等を設定し、定期的にその達成状況を把握し、必要に応じて施策の見直しを検討する。</p>	<p>(肝疾対策協議会における今後の対策の検討)</p> <p>○ 肝炎の専門医や医療関係者、患者団体等で構成する肝炎対策協議会において、本道の医療提供体制の整備や患者への支援策の推進などについて検討を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文言の省略化 ・ 委員の意見を踏まえ追記